

伊予市 IYOCITY 内水ハザードマップ



伊予市では皆様に、浸水の発生が想定される区域や避難に関する情報などを提供し、「内水はららん」に対する正しい知識をもったいただき、浸水被害を軽減することを目的として下水道計画区域を対象とした「内水ハザードマップ」を作成しました。

本マップは、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨(1時間雨量130mm)が発生した場合に「内水はららん」によって浸水が想定される範囲や深さを示したものです。「内水はららん」とは、水路・ポンプ場等の下水道排水施設等によって海や河川に排水しきれなくなった場合の浸水です。河川の氾濫及び高潮等による浸水とは異なります。「総合防災マップ」「河川防災マップ」「高潮防災マップ」「ため池ハザードマップ」とあわせて持ち出しやすいところに保存、掲示してください。

発行元 伊予市 水道部 上下水道課 住所: 伊予市米湊820番地 電話番号: 089-982-1111 伊予市: <http://www.city.iyo.lg.jp/>

災害を知り
避難を考え
災害に備える



水害発生メカニズム

内水はらんと外水はらんと

浸水被害には、大きく分けて「外水はらんと」「内水はらんと」があります。

外水はらんと



「外水はらんと」は河川の上流で降った雨などにより河川の水位が上がり、堤防から水が溢れたり、堤防が決壊することにより起こります。外水はらんに比べ被害は小規模な場合が多いですが、急激な雨で突如として発生したり、マンホールのふたがあいてしまうといった、外水はらんととは異なる危険性があります。

内水はらんと



「内水はらんと」は市街地に降った雨が下水道の処理能力を超えると、水が上手く排除できないことにより起こります。外水はらんに比べ被害は小規模な場合が多いですが、急激な雨で突如として発生したり、マンホールのふたがあいてしまうといった、外水はらんととは異なる危険性があります。

どんな時に内水はらんが起きるのか?

伊予市は海に面した平地に位置することに加え、近年の都市化により雨が地面にしみこみにくくなっています。そのため、下水道で雨を集めてポンプにより河川や海に排水しています。台風や集中豪雨により下水道の能力を超える雨が降ると雨水を排水できなくなり、内水はらんが発生することがあります。

水害発生メカニズム



非常時持出し品/ローリングストック

非常時持出し品

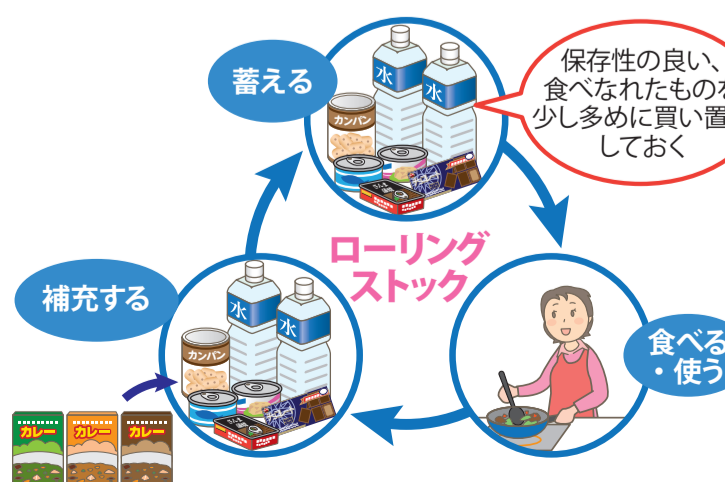
賞味期限 OK!

- 照明器具**
 - 懐中電灯
 - ろうそく・ライター
- 非常食品**
 - 水
 - 乾パン
 - 缶詰
 - カップ麺
- 情報器具**
 - 携帯ラジオ
 - 携帯電話
 - 電池
- 救急セット**
 - 傷薬
 - 包帯
 - 絆創膏
 - 目薬
 - 常用薬
 - マスク
- 衣類**
 - 下着類
 - 靴下
 - タオル
 - 軍手
 - 雨具
- その他**
 - ハザードマップ
 - カイロ
 - ポリ袋
- 貴重品**
 - 現金
 - 印鑑
 - 健康保険証
 - 預金通帳
- 避難用道具**
 - ロープ
 - 万能ナイフ
 - ヘルメット

ローリングストック

災害が起きたときに備えて最低でも3日分、できれば1週間分くらいの食品及び生活用品の備蓄が重要です。備蓄を始めるには、消費しながらストックする「ローリングストック」がおすすめです。

※詳細については総合防災マップを参照願います。



情報を収集する

警戒レベルととるべき行動

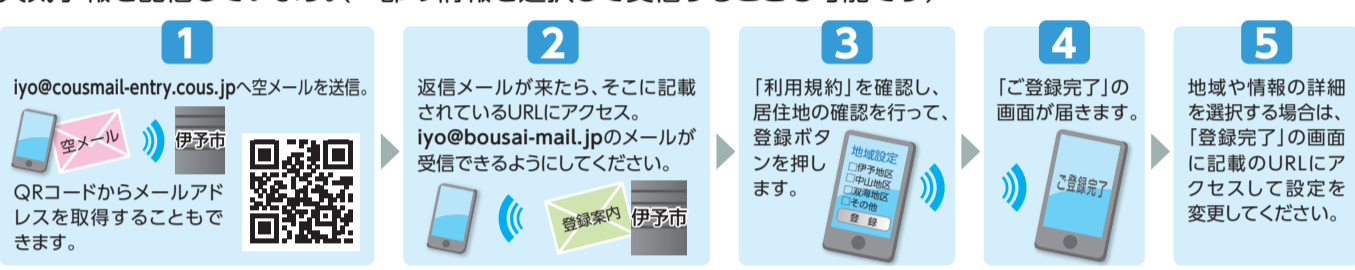
警戒レベル	避難情報	警戒レベルに相当する気象庁等の情報	住民の皆さんがとるべき行動	
5	レベル5 緊急安全確保	大雨 特別警報	河川氾濫 特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
~~~~~(警戒レベル4までに必ず避難! )~~~~~				
4	レベル4 避難指示	大雨 危険警報	河川氾濫 危険警報	危険な場所から 全員避難
3	レベル3 高齢者等避難	大雨 注意警報	河川氾濫 注意警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	—	大雨 注意警報	河川氾濫 注意警報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	—	早期注意情報	—	災害への心構えを高める

伊予市の大雨注意報・大雨警報の発表基準	平坦地	大雨注意報	大雨警報
平坦地	1時間雨量30mm以上	1時間雨量 50mm以上	1時間雨量 100mm以上
平坦地以外	3時間雨量50mm以上	3時間雨量 100mm以上	3時間雨量 150mm以上

発表官: 松山地方気象台

### いよし安全・安心メール

伊予市では、伊予警察署からのお知らせ、気象警報・注意報、地震情報、津波警報・注意報、土砂災害警戒情報、天気予報を配信しています。(一部の情報を選択して受信することも可能です)



市のホームページ <http://www.city.iyo.lg.jp/bousai/kurashi/bosai/mail.html> にも掲載していますので、ご確認ください。

### その他の情報収集手段

- 「キキクル(危険度分布)」▶ <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- ※地図上で大雨による災害発生危険度を5段階の色でリアルタイムで確認できます。
- 「愛媛県 河川・砂防情報システム」▶ <http://kasensabo.pref.ehime.jp/dosha/>

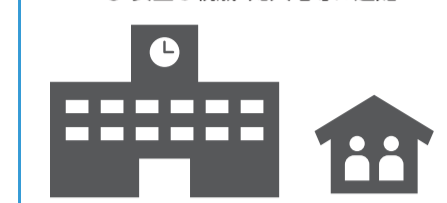
## 避難行動/避難の心得

### 避難行動

避難行動は、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があります。

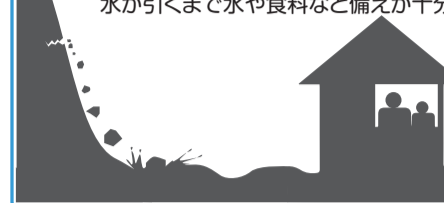
#### 立退き避難(水平避難)

- 市が指定した指定避難所への避難
- 安全な親戚・知人宅等へ避難



#### 屋内安全確保(垂直避難)

- 自宅の山側を避け、2階以上に垂直避難
- ※但し、浸水深より居室が高い水が引くまで水や食料など備えが十分ある



### 避難の心得

避難する前はカスの元栓を閉め、ブレーカーを切り、避難は夜間を避け明るいうちに避難しましょう。また、隣近所、お年寄り、身体の不自由な方などに声をかけ、助け合ってください。

#### 情報収集と慎重な行動を

防災行政無線、テレビ、インターネットなどで最新の気象情報、避難情報に注意して、デマや噂に惑わされないように慎重に行動しましょう。

#### 徒歩で避難を

車での避難は、渋滞が発生したり、浸水により動けなくなったりするため、徒歩で避難しましょう。

#### 足元に注意を

避難時はスニーカーなどの運動靴を履きましょう。長靴は水が入ると危険です。また、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。

#### 無理な避難の回避

避難の時間が十分に確保できないとき、すでに浸水が始まっているとき、夜間などは無理に避難せず、2階や近くの安全な建物へ移動しましょう。

### コラム~浸水時の危険箇所~

#### アンダーパス

アンダーパスとは、道路及び鉄道などが交差する場合、その下を通る地下道のことです。地下道は真っ先に浸水してしまうため、もしもの時のために迂回路を確認しておきましょう。

#### 地下室

地下室は浸水すると外からの水圧でドアが開けられなくなる恐れがあります。浸水の恐れがある場合には地下室の利用は避けましょう。

## 我が家の防災メモ

災害時に家族でどこに避難して、どうやって連絡を取り合うかわからず混乱してしまったりは大変です。話し合いをいざという時の行動や連絡方法をあらかじめ確認しましょう。

緊急連絡先	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

親戚・知人等の連絡先	氏名	電話番号(連絡先)	住所等	メモ

避難場所等	指定緊急避難場所・指定避難所	家族の集合場所

## NTT 災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話が混雑し、家族と連絡がとれないことが多くあります。その時には「171」をダイヤルして、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

**伝言の録音方法**

**171→1→089→XX-XXXX**

ガイダンスがながれます 市外局番が必要 自宅の電話番号

**171→2→089→XX-XXXX**

ガイダンスがながれます 市外局番が必要 自宅の電話番号

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話の他に公衆電話、携帯電話、スマートフォンからも利用できます。

## 日常の備え

### 大雨に備えた準備 大雨に備えた準備をいつでも避難できるようにしておきましょう。

- ① 浸水に備えましょう
- ② 停電に備えましょう
- ③ 非常持出袋を用意しましょう

浸水の恐れがあるときは、家財道具などを2階などの高いところへ移動させましょう。

停電に備えてローソクや懐中電灯の用意をしておきましょう。

非常持出袋を身近なところにおいて、いつでも避難できるようにしておきましょう。

浸水が想定される箇所にお住まいの方は、自家用車の待避場所を検討しておきましょう。路上駐車は避難行動や災害対応活動の支障となります。

### 事前にできる対策

- ① 避難する場所を確認しましょう
- ② 避難する経路を歩いてみましょう
- ③ 雨水貯留・浸透施設の設置

自宅から避難場所、学校や勤務先からの避難場所も全て確認しましょう。

避難場所までの経路(避難路)は、あらかじめ自分たちで複数決めておき、安全に避難できるか確認しておきましょう。

家の屋根に降った雨水を地中に浸透・貯留させることで、あふれる雨水や、下水道に流れる水量を減少させ、内水はらんとを防ぐことができます。

### 家庭でできる簡易水防方法

ご家庭にあるものを使って水の侵入を防ぐ方法の例です。あくまでも水深の浅い初期の段階で行うものです。

- ① ごみ袋による簡易水防
- ② ポリタンクとレジャーシート
- ③ プランターとレジャーシート
- ④ 板など
- ⑤ 吸水性ゲル水のう(使い捨てオムツなど)

40リットルのごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れます。吸水性ゲル水を入れると強度が増します。

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結して使用します。

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み使用します。

レジャーシート、プランター

レジャーシート、板

土のう

吸水性ゲル水のう(使い捨てオムツなど)

軽量・コンパクトですが、水を吸うと膨張します。

## 防災関係機関

### 防災関係機関一覧

名称	所在地	電話番号
消防本部・伊予消防署	伊予市下吾川950番地3	089-982-0119 (非常時は119番)
伊予警察署	伊予市下吾川960番地	089-982-0110 (非常時は110番)
伊予市役所	伊予市米湊820番地	089-982-1111

名称	所在地	電話番号	指定緊急避難場所	指定避難所
伊予市総合保健福祉センター	尾崎 3-1	089-983-4052	○	○
彩浜館	灘町 311	089-982-0506	○	○
五色浜グラウンド	灘町 311	089-982-0506	○	—
港南中学校	米湊 500-1	089-982-0063	○	○
郡中小学校	上吾川 110	089-982-0168	○	○
郡中地区公民館	灘町 359-3	089-982-3508	○	○
伊予農業高等学校	下吾川 1433	089-982-1225	△※	△※
さざなみ館	湊町 206-9	089-982-7220	○	○
ウェルピア伊予	下三谷 1761-1	089-983-4500	○	○

※市街化区域およびその周辺の防災機関を記載しています。※発生した災害によっては、指定避難場所の2階以上に避難していただく場合があります。現地での指示に従ってください。

### その他のハザードマップ情報

伊予市では、「総合防災マップ~災害対応ガイドブック~」、「河川防災マップ」、「高潮防災マップ」、「ため池ハザードマップ」を作成し、配布しています。以下のHPでもご確認ください。

- 「総合防災マップ~災害対応ガイドブック~」▶ <https://www.city.iyo.lg.jp/bousai/kurashi/guidebook/index.html>
- 「河川防災マップ」▶ <https://www.city.iyo.lg.jp/bousai/kasennbousaimappu.html>
- 「高潮防災マップ」▶ <https://www.city.iyo.lg.jp/bousai/takasiobousaimappu.html>
- 「ため池ハザードマップ」▶ <https://www.city.iyo.lg.jp/nourinsuisan/tameike.html>